



農業試験場暖地園芸センター ニュース

第51号(2020. 1)



農業試験場暖地園芸センターでは、本年度、内閣府の地方創生拠点整備交付金により、炭酸ガス発生機やヒートポンプ、細霧冷房、複合環境制御装置等を装備した研究温室5棟と苗テラスなどを設置した育苗実験棟や屋外型人工気象室を建築します。この新しい施設を活用することにより、ミニトマトやトルコギキョウのICTを活用した複合環境制御技術の開発が進み、スターチスやエンドウ育種の効率化が図られるものと思われます。当センターでは、引き続き、野菜花きの収益性の高い施設園芸に寄与する技術開発を進めていく所存でございますので、今後とも一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

(所長 藤岡 唯志)

目 次

研究の成果

- 複合環境制御装置を活用した高糖度ミニトマト新規栽培農家の生産性向上 … (東 卓弥) … 2
- エンドウ新品種‘みなべ短節間1号’の育成経過と特性 … (田中 寿弥) … 3
- 和歌山県に適したトルコギキョウのロゼット化回避育苗技術の開発 … (花田 裕美) … 4
- 低夜温管理でも収量が多いスターチス新品種 … (岡本 崇) … 5
- スターチスにおける日射量が開花に及ぼす影響 … (金川 真実) … 6